

美濃市 「学校選択制」について

- 小学校 5 校・中学校 2 校
- 来年度（2024 年度）から住んでいる区域に関係なく、学校の特徴や家庭の事情を考慮して子どもや保護者が入学先を自由に選べる「学校選択制」を導入。

【7月のアンケート】

対象：小学校入学前の年長児から中学 2 年生までの約 1,300 人とその保護者
回答：約 20 人から現在の通学区域外の学校に入学、進級したいとの声

【来年度（2024 年度）より】

- ・選べるのは、小学校 1 年生と 4 年生、中学校 1 年生への進学・進級時。
※来年度に限り、全学年で選択できる。
- ・小学校 5 校、中学校 2 校の全市立小中学校が対象。学校の規模によって受け入れ人数の上限を設ける考え。
遠距離の通学は原則保護者が送迎し、既存のスクールバスは利用不可。
中学生のみ、距離に応じて自転車通学を許可。

【教育長】 自己選択、自己決定の力をつけられるよう親子で話し合う機会にしたい。
【市教委】 子どもや保護者に学ぶ場所を主体的に考えてもらい、それぞれの希望や事情に応えられる体制を構築したい。

山県市 「山県学園構想」について

- 小学校 9 校（うち 3 校が「複式学級」）・中学校 3 校
- 令和 3 年度（2021 年度）の出生数が 100 人を下回り、近い将来、市全体で 1 学年 100 人以下になる予想。

【来年度（2024 年度）より】

- ・小中学校を統廃合せず現状を維持したまま、学習内容によって他校との合同授業や異年齢学習を使い分ける「山県方式」の小中一貫教育の計画策定をスタート。
- ・試行期間は、2 年程度の見込み。

【ねらい】 少子化に伴う学校の統廃合が進む中で、学校を存続した上で少人数学級などの弊害を解消すること（全国的にも珍しい試み）。

【現在】

- 合同部活動の実施…球技を中心に、中学校 3 校から集まった部員が 1 箇所での活動。
- 教科担任制の導入…本年度から、伊自良北小と伊自良南小の 5・6 年生が週に 2 回、伊自良中で英語などの授業を実施。

【最終的に】

- ・令和 8 年度（2026 年度）から、市内全ての小中学校を一つの学園とみなす「山県学園」の運用を開始。

【課題】 移動時間が増えて引率する教員の負担が増加。
教員は自身の担当学級だけでなく他校の児童生徒にも配慮が必要。
教室や学校の枠組みを超えたカリキュラムや時間割の管理。